

左記采譜

題字 溫柔敦厚 **揮毫** 東温市立上林小校長 **上甲** 鼓季 **解説は3面**



アラスカに魅せられて

自然写真家

松本紀生

暖一被

発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスピワール愛媛文教会館内
電話(089)945-8644
FAX(089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikuukai.jp

(2) 学校紹介 平野中学校
 (3) ふるさとで生きる
 (4) (5) 特集「心に残る先生子ども学校」
 (6) (7) 第23回国公立幼稚園子ども園長研究会愛媛大会を終えて
 (8) ふるさとスケッチ

1年約半分をアラスカで過ごすという生活をもう20年以上続けています。アラスカでは誰もいない原野で一人ひとり、テントやかまくらを住居としながら動物やオーロラを撮影します。長いときには1か所で2か月間キャンプをすることもあります。氷点下50℃にも達する厳寒の辺境での、社会や文明から隔絶された時間です。

孤独に耐える精神力を賞賛されることもありますが、実際は孤独でもなければ精神力も必要ありません。やりたいことをやっているからなのでしょう。内から沸き起る不思議な力に突き動かされて、あつという間にこれまでの月

時間が流れました。
残りの半分の拠点は生まれ
故郷でもある松山市です。写
真家でありながら、日本滞在
中は一切写真を撮りません。
カメラもアラスカに置いたま
で、自宅には撮影機材はお
ろか、キャンプの装備も皆無
です。奇妙に思われるかもし
れませんが、アラスカに惹か
れて写真家になつた者からす
ると、彼の地以外では撮らな
いというのはごく自然なこと
なのです。

日本ではフォトライブと名
付けたスライドショーを行っ
ています。写真や映像を大ス
クリーンに映写し、トーケや
BGMを交えて紹介する出し
物で、アラスカでの撮影と並

ぶ、僕のライフワークとなつてゐます。

依頼に応じて全国どこへでも出かけます。各種団体、病院、小・中・高校や大学、ときには幼稚園にお邪魔することもあります。体育館に響き渡る子どもたちの歓声や笑い声を感じ、笑顔と拍手を贈られる幸せは、先生方なら十分おわかりいただけるのではなないでしようか。

好きなことをやりながら、同時に人からも喜んでもらえるー。そんな生き方も実現可能なのです。20歳を過ぎて写真家を志した僕が言うのですから、少しは説得力があるでしょうか。

いつか子どもたちが人生に迷うことがあつたなら、あんな生き方をしている人もいたなあと思い出してほしい。そう願っています。

- ・ 1972年生まれ
- ・ 生まで在籍
- ・ 松山市立湯築小・道後中卒業
- ・ アラスカ大学卒業
- ・ ア拉斯カのみを撮る写真家として
国内外の媒体に作品を発表
- ・ TBS「情熱大陸」はじめ各局放
送番組に出演
- ・ 中学道徳および高校英語の教科書
などで紹介

プロ野球春季キャンプ真っ盛りである。各球団ともシーザンインを控えて選手の強化に懸命である▼プロ野球の春季キャンプは昭和21年だつたようである▼戦後間もない時期、どのようなキャンプが行われていたのか知るよしもないが、ともあれシーズンを戦い抜く体力と対戦チームに打ち勝つ技能を集中的に磨いていたであろうことは今も昔も変わりないと思う。一流のプレーの背後には厳しい練習があることは容易に想像できる▼「キャンプでいろいろと試すことはムダではありません。ムダなことをしないと伸びません」と試すことはムダではある。キャンプでやつている様々な練習、確かにその中には一見無駄でやつても仕方がないと思われるような練習も混じっているかもしれない▼でも、自分でどうすればよりよくなるかを考え、取り組んでいることなら必ず自らを伸ばすことにつながるものと思ふ▼みんなが行つている行為であつても自ら意味づけできる力も磨いていかなくてはならない。

ひとこと

金築 治美
附属会長

つなぐ・つながる

この姿は、春を目前にした3月の学校の姿と重なつて見える。共に過ごしてきた子どもたちを目の前に、次の学年、学校へと引き継ぐ準備を整えていく時。一人一人の顔を見ながら「この子のよさが輝いていいってほしい」との願い、「十分育てることができただろうか」といった自責の顔を真っ赤にして、ありつたけの力を出して走り込み、握ったバトンを前へ。受け取った！みんなの目が注がれ、歓声に包まれる会場。勤務する幼稚園の運動会、リレーの一コマである。「つなぎたい」「受け取るぞ」その思いは児童も、児童・生徒も共通であると実感する。

東京オリンピックへの関心も高まっているが、私が楽しみにしている競技の一つにリレーがある。とりわけ日本のバトンパスのなめらかさ、美しさは、見ているだけで心が踊る。渡す側の引き継ぐ思いが受けた相手への厚い信頼を感じる。

(愛大附属幼稚園副園長)

この姿は、春を目前にした3月の学校の姿と重なつて見える。共に過ごしてきた子どもたちを目の前に、次の学年、学校へと引き継ぐ準備を整えていく時。一人一人の顔を見ながら「この子のよさが輝いていいってほしい」との願い、「十分育てることができただろうか」といった自責の顔を真っ赤にして、ありつたけの力を出して走り込み、握ったバトンを前へ。受け取った！みんなの目が注がれ、歓声に包まれる会場。勤務する幼稚園の運動会、リレーの一コマである。「つなぎたい」「受け取るぞ」その思いは児童も、児童・生徒も共通であると実感する。

東京オリンピックへの関心も高まっているが、私が楽しむにしている競技の一つにリレーがある。とりわけ日本のバトンパスのなめらかさ、美しさは、見ているだけで心が踊る。渡す側の引き継ぐ思いが受けた相手への厚い信頼を感じる。

この姿は、春を目前にした3月の学校の姿と重なつて見える。共に過ごしてきた子どもたちを目の前に、次の学年、学校へと引き継ぐ準備を整えていく時。一人一人の顔を見ながら「この子のよさが輝いていいってほしい」との願い、「十分育てることができただろうか」といった自責の顔を真っ赤にして、ありつたけの力を出して走り込み、握ったバトンを前へ。受け取った！みんなの目が注がれ、歓声に包まれる会場。勤務する幼稚園の運動会、リレーの一コマである。「つなぎたい」「受け取るぞ」その思いは児童も、児童・生徒も共通であると実感する。

東京オリンピックへの関心も高まっているが、私が楽しむにしている競技の一つにリレーがある。とりわけ日本のバトンパスのなめらかさ、美しさは、見ているだけで心が踊る。渡す側の引き継ぐ思いが受けた相手への厚い信頼を感じる。

この姿は、春を目前にした3月の学校の姿と重なつて見える。共に過ごしてきた子どもたちを目の前に、次の学年、学校へと引き継ぐ準備を整えていく時。一人一人の顔を見ながら「この子のよさが輝いていいってほしい」との願い、「十分育てることができただろうか」といった自責の顔を真っ赤にして、ありつたけの力を出して走り込み、握ったバトンを前へ。受け取った！みんなの目が注がれ、歓声に包まれる会場。勤務する幼稚園の運動会、リレーの一コマである。「つなぎたい」「受け取るぞ」その思いは児童も、児童・生徒も共通であると実感する。

東京オリンピックへの関心も高まっているが、私が楽しむにしている競技の一つにリレーがある。とりわけ日本のバトンパスのなめらかさ、美しさは、見ているだけで心が踊る。渡す側の引き継ぐ思いが受けた相手への厚い信頼を感じる。

学校紹介

No.197

大洲市立平野中学校

郷土への思いを学ぶ

本校は、運動場を囲んで幼小中が同一敷地内にあり、平成29年度から併設型小中一貫校として新たなスタートを切りました。自然が豊かで教育熱心な地域であり、従来から幼小中が連携しており、保護者や地域の協力を得ながら教育活動を実施しています。

中学校は「ふるさと平野を愛し、誇りをもち、地域に貢献できる子どもの育成」としました。発達段階に応じた一貫性のある指導を目指し、乗り入れ指導（小学校へ外国語、音楽、図工、体育、中学校へ数学）を行うとともに、小中でふるさと学習を行っています。地域学校協働活動として、地域コーディネーターが地域人材を積極的に活用できるよう教職員への支援も行っています。

生徒は、道徳の自主教材「柁谷徳馬に学ぶ」を学習後、もみの消毒から始まり、稲刈り、販売までPTAの協力を得ながら取り組んでいます。その後、文化発表会等でおいしくいただくとともに、その勤労体験学習で学んだ先

もたちの食事も十分でなかつた時代に、「弁当や修学旅行の費用に米や野菜を役立てて欲しい」と、地元の柁谷徳馬氏が学校実習地を寄贈されました。

人の思いや、地元の自然とともに生きる素晴らしさについて毎年発表しています。

また、地域を盛り上げたため、平野の祭りでは、全校生徒が4体の牛鬼を担ぎ、地元を練り歩きます。「商売繁盛！」「家内安全！」「平野の祭りだ！」などと、この日ばかりは静かな農村地域に生徒たちの元気な声が響き渡ります。

児童生徒数の減少により、行事等の開催に課題はあります。ですが、平野地区では、幼小中と公民館が合同で「ふれあい運動会」を開催し、今年度で20回となりました。児童からお年寄りまで、地域が一体となつて、見守り育てていただきことに、この地域の素晴らしさを感じています。

今後も、先人の思いを受け継ぎながら、生徒たちは、運動をはじめ、様々な活動を通して、遊び続けていきます。

その中で、単なる体験学習ではなく、先人の郷土への思いを学ぶ「徳馬田の米作り」があります。大正9年、子ど



(校長) 菊池 敏彦

特集 心に残る先生・子ども・学校

思い出多



四国中央教育会
OB
藤田 正臣

川之江市最大の川之江小学校から全校21名の切山小学校へ赴任したのは、私が28歳になつた春でした。行つた年には、市から資材だけを頂いて、地域の人たちで造つた25メートルプールが完成した年で、これをフルに活用して、たつた6人しかいない5・6年生で市内のマンモス校をものともせず、3位までの入賞者が続々と出て、地域の方々も建設の労苦も忘れるほど喜ばれました。熱狂してプールサイドを走つて応援し、大会後の反省会であれば以後慎むようにとのお叱りの言葉を頂きました。

また2年目には県のへき地教育研究会があつて、研究授業、研究発表、初めての全校

合奏などを披露しました。研究発表には複式学級で育つた子どもたちの学力力を文部省の学力テストを使って学力を把握し、教師が一方的に教える学習を控えて、子どもたちで問題解決に立ち向かって問題解決していく力を育てる授業の在り方を追求しました。

その結果子どもたちは今、こんな学習をしています。そしてこんな学力が見え始めました。と資料にまとめて発表をしました。これが評価されたのか研究会終了後同じ発表を香川県の本島で、高知大のへき地研でも発表の依頼を受け、発表に行きました。

子どもたちはまた、生まれて初めて市内音楽会にも参加され、全校合奏を見た県の指導主事の先生が、合奏が終るとそつと目頭にハンカチをあわられました。しかし淋しいことに赴任して3年目に思い出多い学校が廃校となりました。でも、私の心にはいつまでも懐かしく生き続けています。

15年ほど前、ある学校に赴任した。赴任1年目から今まで経験したことのない出来事に度々遭遇し、面食らいながらも、多くの先生方に助けられながら、2年が過ぎ、とうとうその日がやってきた。この学校で、しかも生徒指導のカリスマ的存在であつたK先生の後を引き継いで、生徒指導主事をする事になつたのだ。今回は、この重責に押しつぶされそうになつた私を救つてくれた養護教諭のS先生の話をしたいと思う。

笑い返してやるんよ。」と教えてくれた。何度かチャレンジしてみた。すると、睨むだけでも声もかけてこなかつた子が、廊下で話しかけてくるようになつた。何か気持ちも体も楽になつた。楽になつたら子どもの見え方が変わり、学校がとても居心地よくなつた。

『50にして天命を知る』にまでは至つていないが、自分の30年の経験と周りの方々から教えられたことを、これからの若い世代に伝えることが、自分に与えられた天命の一つかもしれないと思う。

再会



松山市旭中
主事
安部 晃平

私はいま、自然に囮まれた
松山市立旭中学校で事務職員
として勤務させていただいて

いる。高等学校を卒業し、そのまま旭中学校で勤務することになり、はや2年が経過しようとしている。当初は、右も左も分からぬ状態で、毎日毎日事務職員の先輩方に電話をし、一つ一つ丁寧に教えていたのを鮮明に覚えていた。本当に多くの人に支えていただいたおかげで、昨年を乗り越えることができた。

少し落ち着いてきた昨年の9月に、卒業後初めて母校の高校へ行く機会があつた。そこで当時の学級担任など、お世話になつた先生方に挨拶と近況報告を含めてお会いした。自身の進路を様々な先生方が応援してくださり、放課後には面接練習など、きめ細やかな指導をしていただいた。最後の最後まで面倒をみていたおかけで夢を叶えることができ、こうして日々充実した生活を送ることができている。そんな先生方に少し成長した自分の姿を見せてることができたことを嬉しく思う。

私が学び育つた学校に恩返しの気持ちをもち、今度は学校を支えていくという思いで、これからもこの学校に一生懸命励んでいきたい。そして、もし勤務先

でお世話になつた先生方と一緒にすることがあれば、頼りになる事務職員だなと思つていただけるようになりたいと思う。

教職に生きて



伊予教育会
OB
村上 朋子

「先生ちょっと来て」男子生徒がいつもの居場所、トイレに連れて行く。いるいる何事かと思う間もなく、「先生、世話をなつたなあ」花束をくれる。「先生、こっち向いて」便器バックに記念撮影。中学3年を担任していた卒業式の朝のことである。私の38年間の教員生活で一番心

祝

受章おめでとうございます

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

井出 上田 小島 関谷 山田 福重様	政寛様 常光様 鹿朗様 省三様 88歳 元松山市立浮穴小学校長	88歳 元大西町立大西中学校長	88歳 元松前町立北伊予小学校長	88歳 元宇和島市立宇和海中学校長	88歳 元松山市立湯山小学校長
88歳 松山市立湯山小学校長	88歳 松山市	今治市	松前町	宇和島市	松山市

A先生が大好きでA先生の様な先生になりたい。一途なあこがれが教師になりたいという強い意志を育み、くじけそうになる心を叱咤激励、教職の道へと導いてくれた。

に残つている生徒たち。様々の事々が脳裏を駆け巡る。角刈りの髪を切るのがいやでダボズボンをはいて行きたくて行は行かん」とてこずらせたことや運動会の夜祝杯?を挙げ、夜中中対応に走り回つた事などなど、走馬灯のごとく。目頭が潤み、声にならぬ。この子たちと共にやつて來てよかつた。今も鮮やかに蘇る1ページ。小学5、6年、中3の3年間担任し、学年最後の生徒である。

子どもたちと共に歩み、たくさんの感動と夢と希望、勇気をもらつた。そのきっかけはA恩師との出会い。内気で消極的だった私にそつと話しかけてくれ、隠れた才能?をプラス思考で褒めてくれ、出番を作ってくれ。私だけでなくクラスの子みんなにそう

聖職か否かは知らず教え児と戯る日々の幸のみは知る教職に生きた幸せを噛み締める今日この頃である。

生き続けている健二先生



八幡浜教育会
OB
松下 陽子

山本健二先生は小学5、6年の担任だった。算数が好きな先生で子どもの考えを大切にされる先生だった。「○○さん式解き方」と名付けて大きな模造紙に書いて掲示してくださつた。自分が掲示されるととても嬉しかった。詩を掲示してもらつたこともありました。悩みを書くと、子どもの文章よりも長く赤ペンで、まるで交換日記だった。

日記指導も熱心な先生だった。悩みを書くと、子どもの言ひし橋にたたずみ川ながめおり

ここからの景色好きだと師の言ひし橋にたたずみ川なりのにおいがする。

私は先生の好きなものが好きになった。ふるさと、算数、絵、宮沢賢治そして赤ペン。私は先生の好きなものが好きになつた。私は退職が近くなり算数日記の実践をしたが、記憶をつけないと先生成が大切にされていくと先生が大切にされていった実践だった。先生は私の中にずっと静かに生き続けてくださつていたのだ。

先生のうちの陽だまりの庭で楽しく遊びおいしいおやつをいただいたこともある。先生との思い出は、あの陽だまりのにおいがする。

足跡をつづる、私を記す、形に残す。
あなたが主人公のドラマを未来に伝えませんか?

品質・デザイン力に自信あり!

「本」づくり応援

プロのスタッフが校正作業をサポートします!
プロのデザイナーがデザイン力を発揮します!

- 規格・表紙のご提案
- 編集方針のご提案
- レイアウト見本のご提示
- 原稿作りのアドバイス
- 予算のお見積り
- その他、ご相談承ります。

ご注文・お問い合わせは 印刷営業部 ☎ 089-945-0112 FAX 089-947-6073

SEKI セキ株式会社

愛媛県教育会の積立年金制度

将来の年金の準備に活用できます。

制度内容等の詳細はパンフレットをご参照ください。
公益財団法人 愛媛県教育会
電話 089-945-8644

MY-CF-18-386-418303-190117-1

第23回四国国公立幼稚園・こども園長研究会 愛媛大会を終えて

四国国公立幼稚園・こども園長研究会愛媛大会実行委員会

はじめに

11月8日、9日の2日間、約120名の参加者を得て、南予宇和島市で開催された。

大会主題「未来の創り手となる子どもを育む幼児教育を目指して、家庭・地域との連携を通して、幼児期にふさわしい遊びや生活を考える」のもと8日は懇親会、9日午前中に2園の公開保育、午後からは全体会、研究発表・指導助言、名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授津金美智子先生のご講演を行った。

【公開保育】

宇和島市立宇和津幼稚園

宇和津幼稚園は、宇和島城の東方の山手に位置し、静かな住宅街にある。宇和島伊達10万石の総鎮守「宇和津彦神社」も校区にあり、古くから少子化や共働きの家庭の増加伝統と文化が育まれている。

に伴い園児数は減少している。幼児は素朴で明るく、家庭で愛情たっぷりに育てられている。小規模園ならではの家庭的な雰囲気の中で園と家庭や地域が互いに協力しながら子育てにあたっている。同じ敷地には小学校や公民館が隣接しており、小学校や老人クラブとの交流もしやすい恵まれた環境にある。

研究にあたっては、幼稚園教育要領の改訂に伴い、幼・小・中・高が一貫した教育の在り方や幼児期の発達や学びの連続性が具体的に記され、円滑な接続が求められていることや社会環境の変化や家庭の教育力の低下により園での教育に求められるものが多くなってきていている中、人々との関わりをもつことが重要と考える。そこで園がセンター的な役割を担い家庭や地域との連携や一人一人の児童

保育のねらいとして、一人人が目標をもつて、体力づくりに取り組むことを目指し、各学年のねらいをもとに保育を展開した。6年生との活動では、朝マラソンをした後なわとびを一緒にし、6年生が園児一人一人の状況に応じて、なわとびの跳び方を伝えていた。6年生との会話やほめ言葉に園児がやる気を起こし、少し難しいことや経験との関わりをもつことが重要なとする姿があった。互いが

なわとびの様子



6年生との朝マラソン



なわとびの様子

宇和島市立明倫幼稚園
明倫幼稚園は、宇和島市の南に位置し、近くには国指定の名所「天赦園」「市立伊達博物館」「市立図書館」などの文化的施設がある。園児数は少子化や共働き家庭の増加により、年々減少している。

が未来の創り手として社会を築き、生きていくための資質・能力をどう育てていくかが示されている新幼稚園教育要領を踏まえ、小学・中学・高校との交流活動について再考が必要ではないかと考えた。また、互いの発達段階の理解、交流の意義、内容、育つ心情や態度等をしつかり話し合い、交流活動が幼児にとってふさわしい遊びや生活になつていたかどうかを評価反省していくかどうかを評価反省し、次回の活動につなげて楽しくなつた。

家庭や地域との連携においては、共に理解し合い育ち合える活動や関わりの深まりがある活動になつてているかどうかを考えていきたい。

宇和島市立明倫幼稚園の文化的施設がある。園児数は少子化や共働き家庭の増加により、年々減少している。家庭は、幼稚園教育に関心が高く、園行事にも積極的に参加し、協力的である。

研究にあたって、めまぐるしい社会変化の中、児童自ら



じゃんけん陣取り

保育の中で明倫小学校1年生との交流活動が展開され、砂場で感触を味わいながら遊び、協力して水の流れる水路を作ったりして楽しんでいた。

小学生とじやんけん陣取りをし、勝った方が松ぼっくりを得点表の所に置いていつた。その後松ぼっくりの数を数えるなど1年生がどちらがどれだけ多いか幼児に伝える場面も見られた。室内では、1年生と幼児が互いにアイデアを出し段ボールを使って遊びの場を作る姿が見られた。



段ボールの場づくり

開会行事の前に7月に起きた西日本豪雨の際、床上浸水相当の被害に遭った肱川

幼稚園・久米幼稚園に全国公私立幼稚園・こども園長会、全国公私立幼稚園・こども園PTA連絡協議会より支援金の贈呈が行われた。両園長先生が、災害時の状況や現在の子どもたちの様子を伝え挨拶をした。

肱川幼稚園、久米幼稚園
両園長先生よりごあいさつ

【提案発表】
「幼小中一貫教育を進める中で（小・中と連携しながら育つ・つなぐ）」、徳島県鳴門市撫養幼稚園岩崎智美園長先生からの提案が行われた。幼稚園から中学校までの11年間を通して、系統的・断続的な学習指導や生活指導を行なう、すべての子どもの確かな学力・豊かな心・健やかな身体を育むことを目的とした取

【講演】
「新幼稚園教育要領を踏まえた実践を考える」と題し、名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授津金美智子先生より公開保育の中での児童と小

【提案発表】

地域の子どもをどのように育てていくか、「学びのプラン」を基に目標を共有し、子どもたちのこれまでとこれからを捉えつつ子どもの関わることは、相互理解と互恵性につながり、幼・小・中にとつてメリットとなると愛媛県教育委員会指導主事和田和美先生より指導助言をいただいた。

【講演】
「新幼稚園教育要領を踏まえた実践を考える」と題し、名古屋学芸大学ヒューマンケア学部教授津金美智子先生より公開保育の中での児童と小



提案発表



講演

り組みの中で作成した『学びのプラン』や異校種間の教職員で子どもを捉え、伝え合う大切さを報告された。

学生との関わりを例に挙げながら、新幼稚園教育要領の遊びを通した総合的な指導の大切さや幼児教育と小学校教育との接続は教育の中味がつながることであると講演いただいた。

畠・ふすま張替えのご案内

愛媛県学校生活協同組合連合会では、(株)ライフネットと提携店契約を結んでおります。

面白い畠替え、ふすまの張り替えなどのご用命はお気軽に学校生活協同組合までご相談ください

お問い合わせは

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 郡市学校生活協同組合



本年度のご利用ありがとうございました。
来年度も一層のご利用をお願いいたします。

**会議・宿泊・宴会に
私たちの会館を！**

ご利用条件の詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.ehime-bunkyo-kaikan.or.jp/>

エスパワール 愛媛文教會館

ふるさとスケッチ

No.420

別子銅山第4通洞

新居浜教育会
O.B.

濱田 直

に至る延長約4,660メートルの坑内運搬の大動脈でした。キヤツップランプを着装した鉱夫を乗せた電車が手前の鉄橋を渡つて入坑、坑内から鉱石が運びだされる光景が昭和48年まで見られました。



ご冥福をお祈りします

藤堂	菊地	上申	内田	白石富美子様	池田	義久様	91歳	大洲市西大洲甲三〇・四
清様	泰博様	早月様	得仔様	85歳	柴田	和郎様	80歳	西予市宇和町れんげ九五・三
88歳	93歳	92歳	88歳	喜多郡内子町平岡甲一八九・七	田村	宗信様	85歳	八幡浜市保内町川之石五・九
藤堂内丸一	清様	宇和島市津島町高田内丸一	泰博様	西予市宇和町河内三三三	池田	義久様	91歳	大洲市西大洲甲三〇・四

瀬戸内沿岸の一農漁村にすぎなかつた新居浜を四国屈指の工業都市へと発展させると共に、日本の近代化に大きく貢献した別子銅山の入口、第4通洞です。明治43年に端出場(現在のマインントピア別子)から開さくに着手し、大正4年に貫通、通洞口から中心部

遙か高野山に想いを馳せ　一光林寺



ローカルトピックス

今月は高野山へ金剛峰寺を開きました。

この大師の決心をゆるがすものがありました。遠くに瀬戸と決心しました。ところが、海が見えたからでした。大師は、海を大変きらつてました。その後、大師は和歌山県の高野山へ金剛峰寺を開きました。この高野というのは、玉

昭和44年に発刊された『玉川の民話』が、昨年復刻されました。当時の中小学生が地域の方々に取材して、当地方に代々伝わるお話を収録したものです。

「弘法大師は優れた学問を

解を得て、一部抜粋して紹介する。

「弘法大師は優れた学問を

解を得て、一部抜粋して紹介する。